



Studio vision 2024

# つくる みせる

映像を作る

映像を魅せる

映像を「作る」と「魅せる」ことを両立する  
= **生産性を維持しつつ、ハイクオリティな作品制作**を目指します

## つくる

制作  
-生産性の維持-

### ① スケジュールの「透明化」

クオリティラインを担うメインスタッフを中心に内製化。  
スタジオ全体で共有することで、**安定的なスケジュール進行**を実現します。

### ② サブスキルの獲得

スケジュールの空白期間をサブスキルの育成に充て、  
常にスタジオを回しながら成長できる環境を用意。  
(例：ライカリール、BlenderのスキルUP)

## みせる

映像  
-ハイクオリティ-

### 「おもしろい」を「育てる」

映像化（アニメーション）による付加価値＝「色・音・時間」を駆使し、  
作品に寄り添った独自の**映像演出**をプランニング。  
絵だけにとどまらない「おもしろさ」を生み出します。

# スタジオの特徴

## ① 1ライン制による集中

1つの作品に社内スタッフを集中させることで、技術開発や育成を作品制作のなかに集約+内製意識を高め、**作品のクオリティをスタジオのMAXまで上げる**事が出来ます。

## ② 多様な職種からの人材育成

入社時の部門に縛られることなく、  
適性や希望によって**適材適所な部署異動**を行っています。  
また、これにより社内演出・アニメーターを中心に**育成に力を注いでいます**。

## ③ フルデジタルによるスムーズな連携

部署連携による**工程間のロスをなくす**事で、  
作品制作そのものに注力できる環境を構築しています。

# Thank You!!



Studio vision 2024